

「SNSは大学を変えるか!？」

日時：2012年6月27日(水)

会場：大手町ファーストスクエア・カンファレンス

ここ数年、ソーシャルメディアを戦略的に採用し、コンシューマとの関係性を強化する企業が増えています。こうした企業群は、ソーシャル・エンタープライズと呼ばれています。

大学においても「開かれた大学」であるとか「大学連携」などが言われて久しいのですが、実態が伴わない大学が多いのが実情です。こうした状況において、ソーシャルメディアを用いることによって、大学教育や大学運営に新しい可能性をもたらすことは可能なのでしょうか。

また、入学志願者や企業などのステイクホルダ、あるいは広く社会一般と大学との間に新しい関係性を築くことは可能なのでしょうか。

本フォーラムでは、ソーシャルメディアが大学にもたらす功罪を整理し、その活用法を検討していきたいと考えています。

開催日時

2012年6月27日(水) 14:30~17:30 (情報交換会 17:45~19:00)

参加費

参加費無料

※CAUA会員は資料無料、会員外は資料有料(¥1,000)です。

※情報交換会は会員・会員以外ともに会費制(¥1,000)です。

定員

80名(事前申込み制)

お申込方法

[WEB] <https://spider.ctc-g.co.jp/web/fm/edu/2012015g>

[FAX] 所定のFAX申込書にご記入の上、CAUA事務局宛にFAX下さい。

主催

CTCアカデミックユーザーアソシエーション(CAUA)

会場案内

大手町ファーストスクエア・カンファレンス

住所 東京都千代田区大手町1-5-1

ファーストスクエアイーストタワー2F

電話 03-5220-1001 (代)

入館方法

1Fロビーの総合受付にて、受講票を提示して、入館専用カードを受け取りのうえ、入館してください。

交通アクセス

地下鉄 大手町駅(C8/C11/C12 出口直結)

・東京メトロ 千代田線/東西線/半蔵門線/丸の内線

・都営地下鉄 三田線

JR 東京駅(丸の内北口 徒歩4分)

地図URL <http://www.1ofsc.jp/access/>



※丸の内オアゾの自動車の開閉時間は5:00~24:50です。ご注意ください。

プログラム

「SNSは大学を変えるか!？」

14:30
▼
14:40

【開会挨拶】 後藤滋樹氏（早稲田大学教授、CAUA会長）

14:40
▼
15:40

【基調講演】 岡部洋一氏（放送大学学長）

「SNSは大学を変えるのか」

放送大学は通信制大学であり、一般大学と比較して一番のネックは学生間、学生-教員間のコミュニケーション不足である。これを乗り越えるべく、実験的に複数のSNSを利用して来た経験から、その効果、問題点、将来性について述べる。

15:55
▼
16:40

【パネリスト発表】

【発表】 安東孝二氏（株式会社 mokha代表取締役、CAUA運営委員）

「復習SNS」

SNSがどうしてここまで注目されるのか、歴史を振り返りながらもう一度原点に戻って復習します。

【発表】 森田真基氏（株式会社 朝日ネット クラウドサービス部 副部長）

「大学のSNSってソーシャルなんですか」

現在約100校に導入されている教育支援システムmanabaは、SNSの機能も有しています。その開発担当者が、実際のケースをご紹介します。大学SNSならではの課題や、運用の工夫、今後の可能性を検証します。

【発表】 柳沢富夫氏（関東学院大学講師、ラウンドテーブルコム代表取締役）

「大学におけるSNS利用の実例と今後の利用の可能性」

学習者が使い慣れた環境で提供してくれる「学習ログを入手する為」に、授業で積極的にSNSを活用している。一方でSNSの活用は、マーケティングツールとしても有効である。経験から、国際的連携に魅力を感じている。

16:40
▼
17:25

【パネルディスカッション】

「どうすればSNSは大学に役に立つのか」

コーディネータ 只木進一氏（佐賀大学総合情報基盤センター長、CAUA運営委員）

パネリスト 安東孝二氏（株式会社 mokha代表取締役、CAUA運営委員）

（氏名五十音順）

岡部洋一氏（放送大学学長）

森田真基氏（株式会社朝日ネット）

柳沢富夫氏（関東学院大学講師、ラウンドテーブルコム代表取締役）

17:25
▼
17:30

【閉会挨拶】 小野成志氏（学校法人根津育英会、CAUA監事）

17:45
▼
19:00

【情報交換会】 CAUA会員、会員外共に会費¥1,000.

会場：大手町ファーストスクエア B1階 ビヤレストラン銀座ライオン

講師との質疑、参加者同士の情報交換の場としてお役立てください。